

## 1：心を整える — リトリートの過ごし方



石亭は、“型”を超えた“調和”を目指す宿です。建物には日本建築の要素が随所に見られますが、家具の多くは北欧から取り寄せられたもの。お飲み物は地元の冷酒に加え、厳選されたワインやスパマンテもご用意しています。音楽はクラシックやジャズが中心ですが、時折、竹笛の音も聞こえてきます。館内には、世界中の古今東西の本が豊富に揃っており、亭主 上野自ら選書したそのラインナップは、一見バラバラのようでいて、不思議と心地よい調和を感じさせます。現代は、すべてを一つのスタイルにそろえる時代ではありません。“同じであること”を避けるのではなく、“本当に良いもの”をジャンルにとらわれずに見極め、受け入れる姿勢が大切なのです。服の着こなしにおいても、整ったセットより、自分の好きなものを上手に組み合わせる方がスタイリッシュに見えることがあります。瀬戸内の気候や風土に合った木の建築と通風設計、時とともに変化し身体に優しい天然素材、四季の移ろいを感じさせる庭、そして身体に直接触れる家具の大切さ。こうした基盤を大切にしながら、石亭は「良いものを柔軟に取り入れる現代の旅館」というあり方を提案しています。